



# わかとりクラブ鳥取

## ～とっとり県老連だより～

中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会 特別号

### 第34号

■会員数 34,214人  
■クラブ数 727クラブ

平成30年4月現在

■公益社団法人 鳥取県老人クラブ連合会  
住所 〒689-0201  
鳥取市伏野1729番地5  
県立福祉人材研修センター内  
TEL 0857-59-6361 FAX 0857-59-6340  
<http://www.fuurmon.sakura.ne.jp>



このたびの研修会に対し、鳥取県や鳥取県共同募金会からの補助金・助成金とともに、各市町村老連からの負担金や研修会冊子の広告等財政的な支援・協力、さらには、研修会運営に携わって頂いたスタッフの方など、鳥取県老人クラブ連合会が一体となった取り組みができましたことに対し、心から厚くお礼を申し上げます。

なお、研修会の詳しくは、この「県老連だより」で報告させていただきます。

さて、10年に一度まわってくる、「中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会」を、10月22日(月)・23日(火)の2日間、米子市皆生温泉の皆生グラインドホテル「天水」で開催しました。当初、7月12日・13日に開催を予定していましたが、7月の「西日本豪雨災害」により延期しての開催となりました。全老連、中国・四国の各県・各指定都市老連から206人、鳥取県老連からは役員・会場・案内・受付などスタッフを含め119人で、総参加者数325人と、多数の参加の中で、成功裏に終了することができました。



本年5月の定時総会で、沖田博敬会長の後任に選任され、会長の大役をお引き受けすることとなりました。何卒よろしくお願いたします。

「中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会」の成果を今後の活動に活かそう！

鳥取県老人クラブ連合会  
会長 中林 正樹

各市町村老連の均等割や、単位クラブ数割・会員数割の会費値上げや、老人クラブの基礎組織である単位クラブ活動に重点をおいた支援策による会員拡大などについて、各市町村老人クラブ連合会の会長会を開催し、十分な協議を行うこととしていただいております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

また、喫緊の問題として財源確保があります。鳥取県老人クラブ「8千人会員増強運動」推進において、平成26年度から平成30年度の5カ年計画で、3万9千人↓4万7千人を目標に取り組んでまいりましたが、最終年度の今年、4月1日の県内の市町村老連の会員数が、約3万4千人と大幅に減少しています。会費収入の減少に加え、低下でシルバー基金の運用益もごく少額となり、公益法人としての事業運営が困難な状況となっております。

おりますが、このたびの研修会で討議した①「健康づくり・介護予防活動」②「地域支え合い活動」③「会員増強及び若手会員活動」については、今日、鳥取県老人クラブ連合会が抱える課題であり、この研修会の成果を基に、今後、皆さんと真剣に協議して、取り組んで参りたいと考えています。来年は高知県で開催されます。

# 「老人クラブ組織の発展に向けて」

## ～のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを～



基調講演

全国老人クラブ連合会

河野 敦子 参事

### 基調講演・報告内容 Ⅱ 要約 Ⅱ

1. 高齢者を取り巻く社会情勢  
2025年、団塊世代が75歳以上になり、高齢化率30%に。75歳以上人口の推移は地域により異なり、特に都市部と近郊で急速に増加する。
2. 健康寿命の延伸  
日常生活が制限なく過ごせる期間が健康寿命。平成28年は男性72・14歳、女性74・79歳。平均寿命は男性80・98歳、女性87・14歳で、日常生活に支障がある期間は、男性8・84年、女性12・35年である。
3. 地域共生社会の構築・地域包括ケアシステムの構築  
新地域支援事業Ⅱ平成27年の介護保険制度改正により、全国一律であった要支援者に対する訪問介護・通所介護が、市町村が行う新地域支援事業に移行された。
4. 減らない高齢消費者被害Ⅱ振り込め詐欺など。
5. 老人クラブとしての運動・行動提案Ⅱ100万人会員増強運動（最終5年次）の推進。運動開始3年後の会員数が約57万人減少している。◇会員増老連のキーパーソンは「単位クラブの会長である。◇効果を上げた取り組みは▽声かけ・個別訪問▽活動による勧誘・新行事▽他機関（自治会等）との連携▽組織的推進（実績公表・意義付け等）▽クラブ新設・解散防止▽広報活動。
6. 今後の取り組みⅡ都道府県・指定都市老連役員が市町村老連へ出向いて協議の場づくり▽新規クラブの立ち上げ▽解散クラブの防止（特に女性リーダーが役割を担う）▽単位クラブは純増を目指す。
7. 老人クラブの組織活動の有効性・秘訣▽交流が多いと健康にプラス▽地域の役割を担って長生きしようⅡ加入して健康長寿。
8. 市町村の新地域支援事業に友愛活動・健康づくり・介護予防活動の経験を活かして参画。
9. 老人クラブ補助金の活用。

事例発表・討議 <第1部>

健康づくり・介護予防活動の推進



◇松江市高ク連 〓「高齢者のための健康づくりセミナー」は月1回開催。体力測定・いきいき体操・健康ウォーキング・ニュースポーツ・ロコモティブシンドローム測定・笑いヨガ・座学など。修了者は各地区で研修会を開催、積極的に取り組んでいる。

◇上勝町老ク連 〓老人大学は昭和33年鳴門市で日本で初めて開講。上勝町では同38年に初開講。同55年から毎年4日間開講。理学療法士・管理栄養士・歯科衛生士・レクリエーションインストラクターを講師に招き、認知症予防体操・百歳体操・口腔ケア・ニュースポーツなど学んでいる。友愛訪問員・各地区連絡員らが参加を呼びかける。楽しく健康づくりができた。

①「健康づくり・介護予防活動の推進者養成」

松江市高齢者ク連事務局長 若林 三成

②「『老人大学』で学ぶ健康づくり・介護予防」

徳島県上勝町老ク連会長 森本 章

座長 〓鳥取県老連 川口昭一理事

助言者 〓山口県老連 平田武副会長

愛媛県老連 伊崎福徳理事

感想 = ◇松江市高ク連は良く考えられた企画。仲間と体を動かし笑ったりして健康寿命を延ばす「病気にならない体保持」に繋がっている。

◇上勝町は百歳体操・認知症知識の習得で健康づくりを感じました。

<湯梨浜町泊「潮風ク」会員・藤井義親>



皆生グランドホテル天水の2階グランドパレスを埋めた参加者



来賓の伊木米子市長



受付、続々と参加者が訪れる

事例発表・討議 <第2部>

地域支え合い活動の推進

① 「じ・ば・子みんなの文化祭の効果について」

津山市城西地区老連顧問 堀田 貞信

② 「田舎の防犯パトロール隊」

岡山市津高地区高ク連会長 遠藤 剛

③ 「呉市老ク連における日常生活の支援活動」

呉市二方地区老ク連会長 竹内 和男

④ 「友愛訪問事業について」

坂出市川津老ク連会長 山下 勉

座長 鳥取県老連 中林正樹会長

助言者 鳥根県老連 安達伸次会長

徳島県老連 細井啓造会長

◇城西老連 爺・婆・子供三世代で地域文化の伝承(餅つき・猪の子の祭り)昔遊びで交流。まちづくり協議会・学校の協力。親も参加で、貴重な体験と大喜び。

◇津高地区高ク連 平成15年から活動。通学時・月2回夜間に青色回転灯車4台と警察パトカー1台で巡回。過疎化が進み

広範な山間部の住民に安全安心を確保している。老人クラブだけでなく町内会・学校関係者など全ての住民が「手伝う・行動する」側に回ったのは確かだ。成果だ。

◇二方老連 地域包括ケアシステムの講習を受け、平成29年から、市内25老連中の3地区老連で行政と連携して、高齢者宅を訪問、話し相手・見守り・ゴミ出しなどの支援活動。

◇川津老連 各自治会が集会所等で月2〜4回、簡単な食事後、児童代表・地区世話人と85歳以上宅、65歳以上で寝たきり宅へ記念品渡す。

《第3部の発表は5ページに掲載》



事例発表・討議 <第3部>  
会員増強及び若手会員活動の推進

① 老人クラブで『いかす』

広島市長東長寿連会長 高橋 博

② 「若手委員会設置の経緯と活動状況」

山口市老連若手委員長 杉 謙一郎

③ 「会員増強及び若手委員活動の推進」

今治市老連若手委員長 吉良 雅文

座長 鳥取県老連 加持谷典範若手委員

助言者 岡山市老連 山上勤会長

香川県老連 豊島實会長



# 盛大 華やかに交流会

淀江さんこ節保存会の演舞

人クラブリーダー研修会 交流会



交流会開会あいさつ  
沖田博敬実行委員長



淀江さんこ節踊り



研修会の全参加者へ「手づくりミニしゃんしゃん傘」を記念品としてプレゼント。各市町村老連女性会員の皆さん、ありがとうございました。



壁塗り踊り



落語家  
桂小文吾師

腹から笑っていきいき人生

全老連河野参事の基調報告では▽高齢者を取り巻く社会情勢▽老人クラブとしての運動・行動▽補助金の活用・提案——について具体的な示唆をいただきました。事例発表・討議(3部構成)は、地域の状況に応じた活動報告。会員だけでなく住民と一緒に活動、町づくり・クラブ活動活性化・会員増強に繋がること。皆が元気で楽しく感じることが共通した内容と思います。

## 【木村県老連副会長 総括・まとめ】

◇今治市老連 平成27年若手委員会発足。ハイキング・サイクリング実施。市老連事業への協力・補助。単位クラブの年間5人以上純増計画の実施、成果は大。今後の主な課題▽幹部の若返り▽未組織地域での新規クラブ設立▽解散クラブの防止・編入と統合▽市老連の愛称設定。

◇山口市老連 若手委員会及び女性委員会の活力・パワーに期待が大きい。若手委員の役割と意識変革、理解を深めるため実践的体験を重ね啓発。主な事業▽健康づくりふれあい大会▽健康増進老人福祉大会▽会長杯健康ゴルフ大会▽グラウンドゴルフ大会▽いきいき健康ウォーキング。介護・健康づくりリーダー養成セミナー。活動のマナー化から脱皮できた。

◇長東長寿連 新入会員は2年連続百人超。会員地図作成し活用。クラブ活動・同好会の増強。長東音頭の普及。魅力が分かるチラシ作成。「老人と言われる私達は、その時が来るまで、私と私に繋がる様々なものを『いかす』という想いで生きる！」

好評！交通安全研修会

県老連  
企画委員長 木村 定雄



9月13日  
(西部地区)

9月7日  
(東部地区)



9月21日 (中部地区)



各地区の会場で研修会を行いました。参加者は東部地区73人、中部地区59人、西部地区74人でした。

本年度の研修会は、「老人クラブは、地域の基盤とする高齢者の誰もが安心して生活をするために、一人ひとりが交通安全意識を普及し、交通ルールと正しい交通マナーを習得する事に

より、高齢者の交通事故の防止を図る事を目的に開催しました。

◆講演

「交通事故の加害者・被害者にならないために」

◆体験・講習

シートベルトコンビンサー体験、自動車の死角体験、DV D視聴等

日本自動車連盟鳥取支部の清水歩氏を講師に迎え、運転者・歩行者どちらの立場からでも交通事故にあわないために、注意すべき点を話していただき、一時停止は停止線で停まり、前部を出して停まり、自分から見える位置で停まりと、多段階停止の重要性を教えていただきました。

本年度は、シートベルトコンビンサーを使い、実際に時速5キロ走行での衝突体験や、車の周りにカラーコーンを置き、死角体験を行いました。参加者の方からは「時速5キロでも思った以上の衝撃で、改めてシートベルトの大切さが実感できました」「死角体験は初めてで大変よかったです」等、好評をいただきました。

企画委員としても自己評価をし、一安心した次第です。お礼申し上げます。

地域活動リーダー研修会

県老連  
若手委員長 平尾 昭一

研修会は10月19日倉吉体育文化会館で開催されました。

県内の各老人クラブでは、若手委員の力を活かして加入促進活動が進み、成果を上げています。この活動の様子を、東・中・西部の若手委員が発表しました。

東部は鳥取市老連の平尾若手委員長が「新規会員の加入促進活動勧誘時、何らかの理由で断られる際の対応についての対応策（返し言葉）を若手委員会が試行錯誤の末、作り上げたパンフレットを片手に、同年代の人達を中心に勧誘にまわり、成果を上げている」事例の発表がありました。

中部は倉吉市老連の小原委員長が「高齢者向けのスポーツのバットゲームスター愛好者を中心に根気よく声掛けをして、その努力が縁で入会の成果を上げている」とのことです。

西部は江府町老連の加持谷若手委員長が「人口3千人弱、高齢化率44%と過疎化・高齢化が進行している自地域で高齢者対象イベントを多く開催。行事に



(西部)  
江府町老連  
加持谷  
若手委員長

(東部)  
鳥取市老連  
平尾  
若手委員長

(中部)  
倉吉市老連 小原委員長

は参加したい。けれど集落に老人クラブが無い。そんな人達の救済策として希望者は個人でも参加出来る。そんな画期的なクラブを新設しました。様々なアイデアで、新入会員の獲得・会員の増加に成果を上げている」と事例を発表しました。

各地区とも様々なアイデアを駆使し、加入促進活動で多くの会員獲得している事例の発表でした。

どの事例もすばらしく、とても参考になりました。今日の発表事例参考にして、今後の加入促進活動に活用して頂ければ幸いです。



芸能大会

「声かけ」参加者を増やすには、会員一人ひとりの声かけが一番大事です。市老連が作成し

あなたも  
参加しませんか！

鳥取市老連

会長 森田 秀雄



「地域に貢献」貴方のこれからの人生を魅力ある楽しいものにししましょう。

たパンフレットを持参し、親しくなる事から始めましょう。最初は、「まだ若いから」とか言われると思いますが、断られても何度でも足を運ぶことが大切です。とりあえず、60歳以上の方のリストを作成する事から。



「返し言葉について」①加入するのは、まだ年齢が早い②加入しても面白くない③他の団体に参加しているし・・・④加入するとすぐ役が来る等々このことに対する応え方は、持参したパンフレットの裏面で説明しました。

④健康づくりができます。これからは育ててもらった地域に恩返しをしましょう。

- ① 地域の色々な活動に参し、地域に貢献ができます。
- ② たくさんの知り合い・友達ができます。
- ③ 生き甲斐を見つけることができます。

◎**手芸講習会** 手作りネックレスを、会員の方に講師になっていただき作り、作品は地区文化祭に出展しました。

◎**料理講習会** 包括支援センターさんより講演とゲームをしていただき、楽しめました。食生活推進員さんに講師になっていただき、料理実習を勉強しています。

《8ページにつづく》

元気な地域を作るためには、一人ひとりが目標を持ち生きていく事が大切です。しかし、一人では長続きしにくく、仲間と一緒に活動すれば、楽しく続けられます。そこで、私たち女性部は笑顔で楽しく、いろんな事にチャレンジしています。





手芸講習



踊りの練習

今後とも和気あいあい、楽しい仲間を作っていきます。



全国的に生活支援体制整備事業取り組みへの動きが広まる中、当会でも4年前から地域で「傾聴を通じて支援しよう!」と傾聴活動に取り組んでいます。会員も随分増えました。

境港市寿連  
傾聴委員 中村 登美子

心とこころを結ぶ傾聴

教授頂きました。当委員会では市内介護施設2カ所での活動報告をしました。施設で傾聴の際に、どんな方にもその人にしかない貴重な人生経験や思い出があると感じます。「ありがとー!また来てね♥」とお声を頂くと、互いの心が通じ合ったと



傾聴への理解を深め、普及啓発活動として今年も『傾聴講演会』を開催しました。「地域共生社会の実現に向けたボランティアの役割と課題」について、地域から孤立させない取り組みとして友愛訪問から傾聴活動への重要性をひも解いて、ご



感動が満ち溢れます。話し手にとっては、自身の生きる意味を再発見する大切な機会となるのでしょうか。傾聴が地域で定着するよう、丁寧に心こめ取り組みでまいります。

花は人の心を和ます  
若桜町老連  
会長 坂本 等

7月に業者から届いた花苗を単位クラブ会長、女性委員でポリポットに植え、地域福祉センターで約3週間育成後、17単位





苗の植え付け

クラブ、町内17事業所に配布しました。  
今年には日々草とマリーゴールド合わせて4千本。プランターに植え替え、公共施設・集会

老ク加入運動を進めているが、なかなかありません。底流に今風の利己主義的考えがあるからではないと思います。現代の自己中心的な考え方は、社会的公德心がおろそかになり、利己主義につながり、結局は貢献活動

**もっと社会へ役立とう**  
〜老ク加入者激減に思う〜  
智頭町老連  
副会長 岡田 一



きれいに咲きました

所・バス停・事業所の入り口などに配置されています。水やり、草取り等管理が大変ですが、会員回り番でやっています。花を見て顔をしかめる人はいません。笑顔が一番。地域の皆さんにも喜ばれており、今後も続けていきます。



ボランティア活動（グラウンドの除草）

などする老クへ参加しないのではないのでしょうか。  
以前の青年団、婦人会等はある一定の年齢時期になると、なかば強制的に加入して、じげの円滑油あるいは相互扶助の会として地域の発展に大きな役割を果たしたのですが、今では遠い昔の夢なのでしょう。  
4、5人の小グループが集まって自分たちだけで楽しむ。そんな現代風社会に「何か違う」と感じながら入会勧誘をしています。

**楽しい組織をめざして**  
琴浦町高連  
会長 田中 明

少子高齢化社会が一段と厳しくなっています。我々高齢者は安全で安心して暮らせる地域づくりをめざして、高齢化社会による幅広い世代間、意識の格差や地域社会の要請に対応。若手高齢者のニーズも取り入れ「地域の担い手となり、趣味、健康促進活動」を基軸にして社会参加。地域貢献活動の行事も可能な範囲で取り入れ、各単位クラブの事業を推進。高齢社会を明るく安心して暮らせる地域のリーダーとなって、頑張っている高齢者組織をめざし、いろいろな行事や活動を取り入れています。  
しかし、高齢化と共に地域の世話役、強いリーダーがなく、この世話役を育てる事が大切。それは健康が第一であり、自分が楽しく体を動かす事が大切である事を呼びかけて活動しています。

アンケート調査から  
見えたもの

～真の会員増強めざして～

伯耆町老人クラブ連合会

## 若手委員会

伯耆町老人クラブ連合会では、会員同士、また地域での「ふれあい」「支え合い」「お互い様」の取り組みを、より充実したものにすするため、今年7月～8月にかけて5年ぶりとなるアンケート調査を実施しました。

全国運動として取り組む「100万人会員増強運動」も最終年度を迎え、町老ク連としての、これまでの取り組みを振り返り、会員増強につなげるため、全会員1,620名を対象に行いました。

実施にあたっては、町老ク連の専門部である総務・福祉教養部で調査項目について協議を重ね、集計・分析作業には、若手委員会の協力も得ながら取り組みました。

今回のアンケートでは、幅広い年齢層、健康状態、社会環境の変化のもと、様々な意見をい



集計作業の様子

ただきました。「魅力的な活動をするためには、目的をきちんと持って活動しなければいけない」とのアドバイスもありました。ひとまとめでくくった活動ではなく、きめ細やかな活動、行事が望まれていることもわかりました。

これからの老人クラブ活動は、単位クラブを基盤として、幅広い年齢層、健康状態、あるいはそれぞれの考え方に対応した柔軟な姿勢、目的を持った活動が求められています。今回のアンケートを活かし、「健康・友愛・奉仕」の三大活動目標のもと、特に「支え合い（友愛活動）」には力を注いでいきたいと思えます。

## 少しずつ前進を

大山キャラボク

副会長 清見 久夫

本連合会は単位クラブ、3地域支部（合併旧町）の組織構成となっております。

私が所属する中山支部では、

今年度、単位クラブ活動状況調査・集約・クラブへのフィードバックを第一歩として、活動に資する情報を提供することで、クラブ運営の活性化につなげたいと考えています。

私たち高齢者という括りの中にあっても、大きな年齢幅や世代、生活文化や経験値の違い、そしてこれからの生き方にも関わって、「老人クラブ」への期待感が異なります。

お互いの気持ちを理解しながら私たちの同士がつながる環境と文化を作ることが大切と考えています。

私たち自身が地域の中で居場所を作り、地域づくりの担い手の一人であることの自覚が生まれたとも考えています。

本年、連合会は会員拡大チャシを作成しました。こうした会員・クラブの拡大策は、そうした目的の延長線上にあります。そのため「少しずつの前進」だと考えています。



# 活動活性化助成事業

平成30年度活動活性化助成は、8月29日第1回基金管理運営委員会で審議され、別表のとおり助成されました。

市町村名	新規会員・クラブ増		助成金 ④×@10,000 (円)
	会員増5人以上	新規単位クラブ設置数	
鳥取市	10	2	120,000
米子市	3	0	30,000
倉吉市	9	0	90,000
境港市	5	0	50,000
岩美町	3	0	30,000
八頭町	1	0	10,000
若桜町	0	1	10,000
智頭町	1	0	10,000
湯梨浜町	1	0	10,000
三朝町			
北栄町	1	0	10,000
琴浦町	1	0	10,000
南部町	1	0	10,000
伯耆町	2	0	20,000
日吉津村			
大山町	2	0	20,000
日南町	2	0	20,000
日野町			
江府町	1	1	20,000
合計	43	4	470,000

## 高齢者健康運動会

高齢者大運動会は、福釣り・玉入れなど競技を通し健康づくりや仲間づくりを東部・中部・西部3会場で行いました。

### ●東部 平成30年11月8日(木)

県民体育館  
参加者 565人

### ★優勝

ボールころがし 岩美町チーム  
関所破り 河原町チーム  
玉入れ 岩美町チーム

### ●中部 平成30年9月28日(金)

倉吉体育文化会館  
参加者 489人

### ★優勝

大玉ころがし 琴浦町Aチーム  
玉入れ 倉吉市Dチーム

### ●西部 平成30年10月19日(金)

米子市産業体育館  
参加者 951人

### ★優勝

ホールインワン 日吉津村チーム  
ボール送り 大山町Aチーム  
玉入れ 汗入チーム  
大玉ころがし 伯耆町Bチーム

### ◎応援合戦

最優秀賞 境港市

## 平成30年度

### 全老連会長表彰受賞者

全国老人クラブ大会 (沖縄県宜野湾市)  
平成30年12月4日～5日

#### 【育成功労表彰】

竹内 準太郎 (鳥取県)  
青山 宏 (智頭町)

### 県老連会長表彰

平成30年8月28日、県民総合福祉大会が倉吉未来中心で開催され、鳥取県老人クラブ連合会会長表彰の授与がありました。会長表彰の被表彰者は15名。受賞者代表で古川拓郎様に中林会長から壇上で授与されました。

編集後記

災害で延期した「中国・四国プロック老人クラブリーダー研修会」を10月22日(月)～23日(火)に皆生温泉「天水」で325人の会員が各地から集い開催いたしました。参加された方が帰られる際に、「素晴らしい研修会と楽しい2日間をありがとう」の声を掛けられました。これは、県老連全会員が一丸となって準備実施した成果の賜物

です。この勢いで現在実施中の会員増強運動に努め平成最後の年を、活気ある老人クラブ継続を目指しましょう。広報委員会も皆様と共に努力いたしましたと思います。今回のリーダー研修会の取材・編集は吉田広報副委員長が担当しました。(広報委員長・川口昭一)

県老連役員名簿

(任期/平成32年定時総会終了時まで)

◆理事 13名

- 会長 中林正樹
副会長 森田秀雄
副会長 岡村定裕
常務理事 前田恵
理事 西尾常雄
理事 竹本英一
理事 川口昭一
理事 田中明
理事 米田隆雄
理事 知久史
理事 平尾二三子
理事 米山美津子
監事 池坂昌司
監事 坂本等

|| 広報委員 ||

- 委員長 川口昭一 (境港市)
副委員長 吉田齊 (八頭町)
委員 森田秀雄 (鳥取市)
委員 田中明 (琴浦町)
委員 北村隆雄 (倉吉市)
委員 依藤述代 (鳥取市)
委員 安達幸男 (南部町)
委員 竹中延男 (鳥取市)
委員 吉田齊 (八頭町)
委員 森田秀雄 (鳥取市)
委員 田中明 (琴浦町)
委員 北村隆雄 (倉吉市)
委員 依藤述代 (鳥取市)
委員 安達幸男 (南部町)
委員 竹中延男 (鳥取市)
県老連若手委員

老人クラブ会員向けに 3つの保険で安心補償

回覧

Table with 3 columns: 1. 傷害保険 24時間型, 2. 傷害保険 活動型, 3. 賠償責任保険. Rows include: ご自身のケガの補償, 相手の物・ケガの補償, 加入資格.

1 傷害保険 24時間型
自分がケガをした時の保険です。
(病気および他人に与えたケガは対象外です。)

3 賠償責任保険
他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険です。
(自分のケガは、対象になりません。)

公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係 03-3597-8770
加入申込書等、資料請求先 専用FAX 03-3597-8767
(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス TEL.03-3597-8788 (引渡幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 医療・福祉法人部 法人課二課 TEL.03-3515-4144